

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第34号

第47週(11月19日～11月25日)

発行年月日:平成13年(2001年)12月4日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (47週)	累積報告数 (1週～47週)	平成12年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	9
	腸チフス	0	0	1
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	43	40
4類感染症	アメーバ赤痢	0	5	1
	急性ウイルス性肝炎	0	2	7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	0	4	1
	ジアルジア症	0	1	0
	デング熱	0	0	1
	梅毒	0	5	11
	レジオネラ症	0	1	2

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	47週	増減	41～46週の平均
インフルエンザ	0		0
咽頭結膜熱	0.02		0
A群溶連菌咽頭炎	0.27		0.30
感染性胃腸炎	2.58		0.90
水痘	0.81		0.43
手足口病	0.48		0.38
伝染性紅斑	0.19		0.17
突発性発疹	0.27		0.29
百日咳	0		0
風疹	0		0.02
ヘルパンギーナ	0		0.02
麻疹	0		0.02
流行性耳下腺炎	0.50		0.58
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.43		0.33
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0		0.09
マイコプラズマ肺炎	1.43		0.41
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、41週～46週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

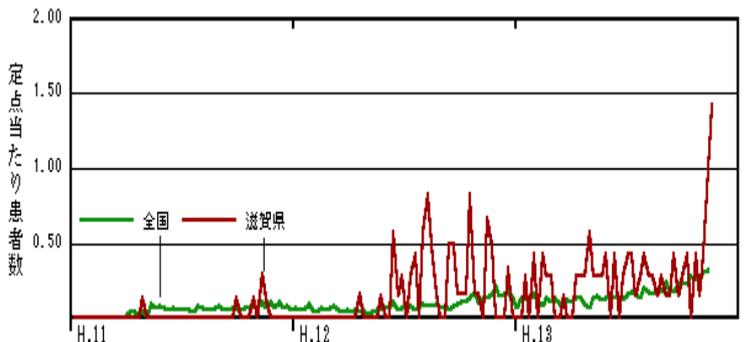
* 太字は、今週の注目される疾患です。

3) 今週のトピックス

患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、41～46週の平均と47週を比較すると、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、流行性角結膜炎、マイコプラズマ肺炎に増加傾向が見られます。マイコプラズマ肺炎の全国の定点当たり報告数は、昨年、一昨年よりも多い状態が続いています。また、滋賀県のマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、先週(1.00)に引き続き今週(1.43)も増加しています。滋賀県におけるH.11(14週)～H.13(47週)のマイコプラズマ肺炎の発生状況は、下記のグラフのとおりです。

マイコプラズマ肺炎の発生状況(滋賀県)



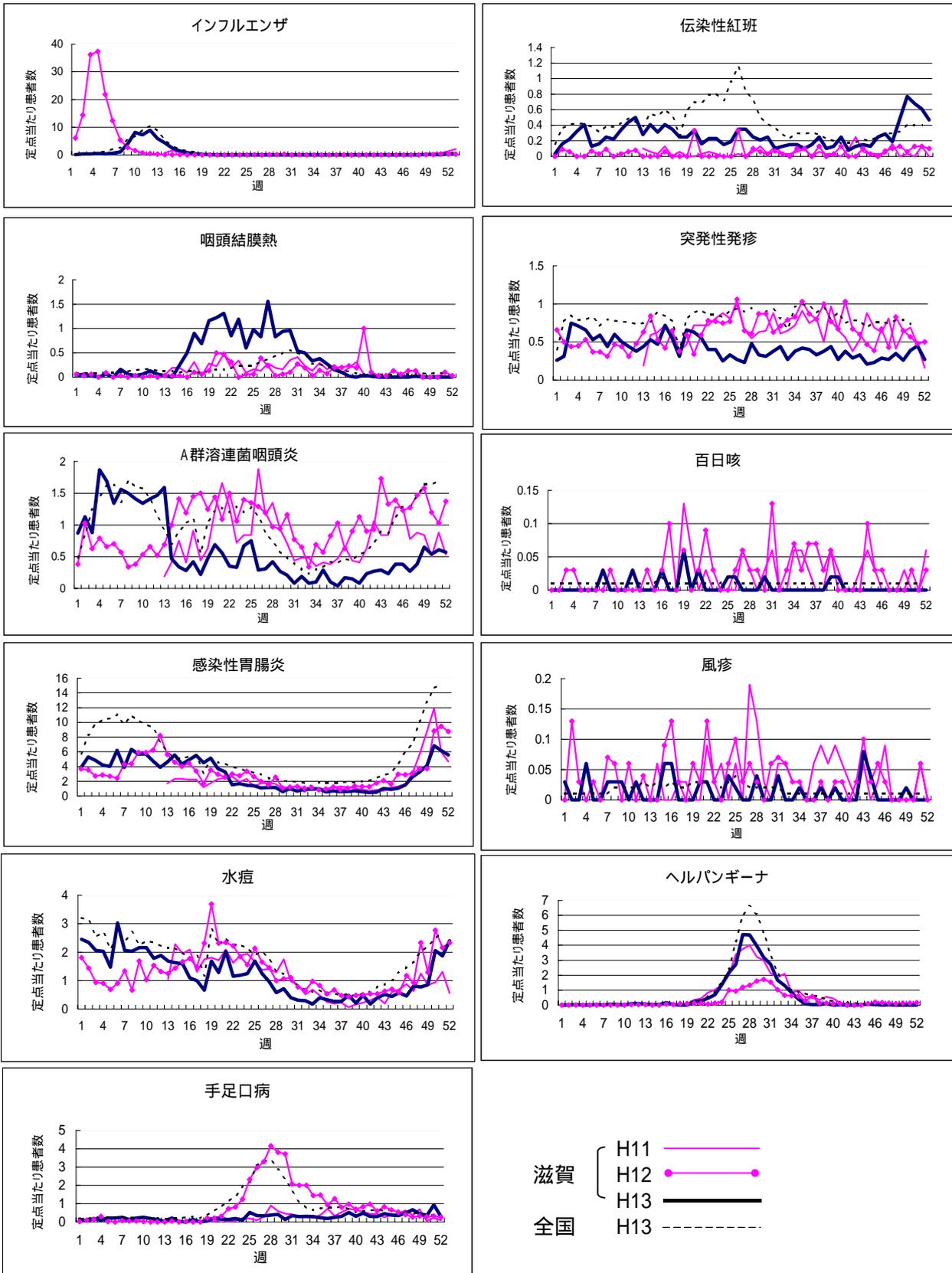
マイコプラズマ肺炎: 晩秋から早春に患者数が多くなり、年齢的には、幼児期、学童期、青年期が中心に罹患する疾患と考えられています。予防法としては、手洗い、うがいを励行し、患者との濃厚な接触を避けることが望まれます。



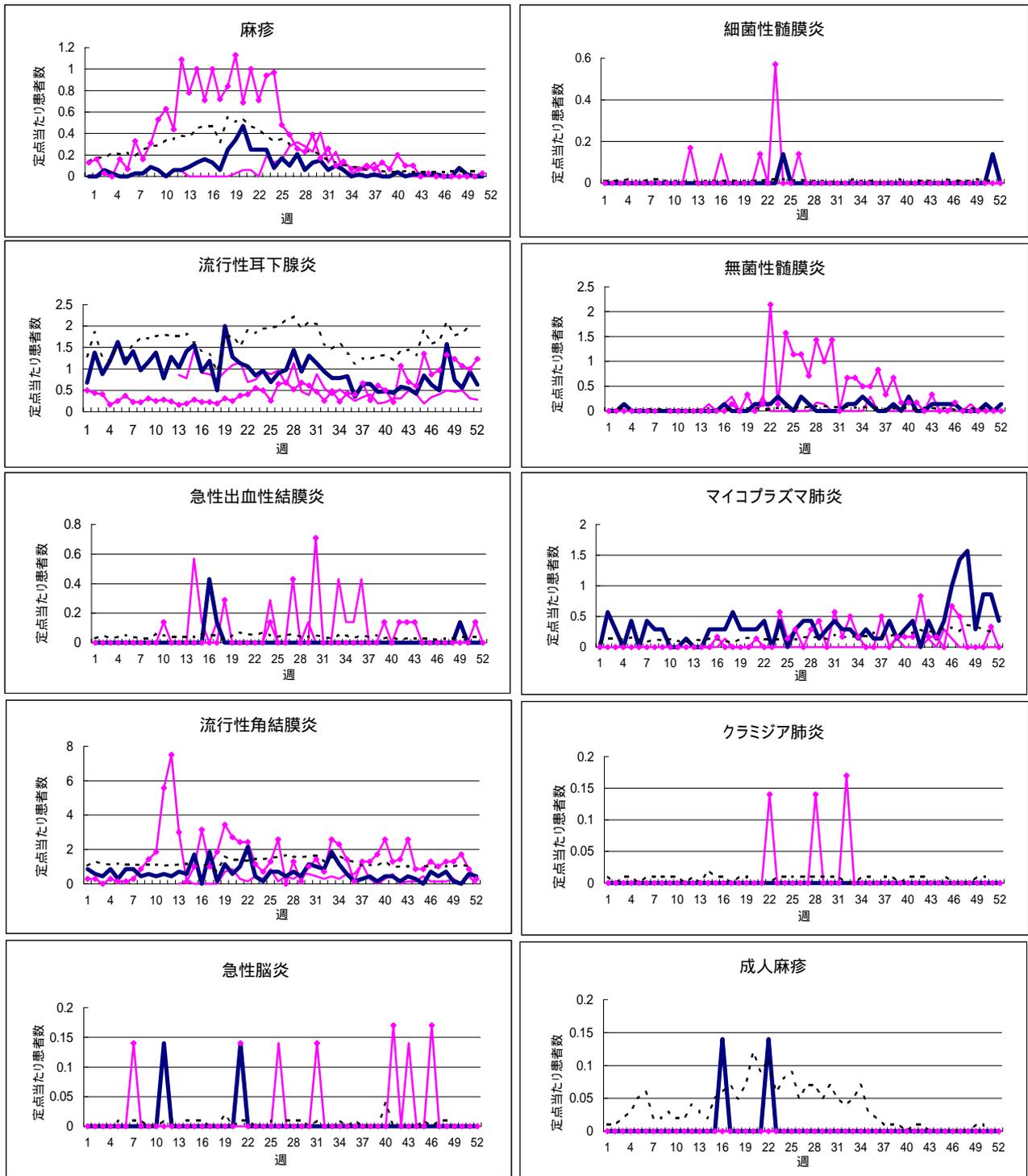
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第47週)



疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第47週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -